

医心伝心 トチギ医ズム

～Tochigi Doctor's Voice～

とちぎで学び、働きたくなる出会いがここにある。

Tochigi Doctor's Voice I

栃木県済生会宇都宮病院／小倉 崇以

～栃木県には、若手医師が果敢にチャレンジできる土壌がある～

Tochigi Doctor's Voice II

自治医科大学附属病院／藤沼 香栄

～助け合いの医療があり、働きやすさも魅力
医師人生のスタート地点に相応しい場所です～



とちぎ

地域医療支援センター

とちぎで充実したドクターズライフを送りませんか？



栃木県知事
福田 富一

とちぎ地域医療支援センターでは、県内医科大学への地域枠設置や医師修学資金の貸与をはじめ、臨床研修医の交流会開催、若手医師向けの研修費助成などを行い、明日の地域医療を担う医師の確保と育成の支援を行っています。

とちぎには、11の臨床研修病院と13の専門研修基幹施設があり、それぞれが地域に根差した医療を提供しつつ、知識・経験に富んだ医師の育成に取り組んでいます。より多くの医学生や医師のみなまでに、とちぎの医療の魅力と医師を育てる環境の素晴らしさをお伝えしたいと思い、とちぎ地域医療支援センターでは地域医療に関する情報発信を強化する取り組みを始めました。本冊子は、その一環として作成したものです。また、ホームページでも様々な情報を発信していますので御覧ください。

また、「とちぎではこんな研修ができるんだ」「この病院で働きたい」そう思われた方は、是非とも、とちぎ地域医療支援センターサテライトにご連絡ください。研修や就職に関する詳しい情報提供や相談支援をさせていただきます。

このとちぎで、みなさま一人ひとりが充実したドクターズライフをお送りいただけるよう、県としてしっかりサポートしていきます。

良いトコ取りとちぎ

東京まで新幹線で約1時間にも関わらず、豊かな自然に触れられる場所、とちぎ県。この場所で“良いトコ取り”して、あなたならではの時間の使い方を見つけてみませんか？



住宅敷地面積 (1住宅当たり)

全国 **5** 位 (352平方メートル)



東京

新幹線で **50** 分

魅力
1

暮らし
やすさ



温泉源泉数

全国 **10** 位 (629カ所)



国立公園面積

全国 **4** 位 (104,781ha)



都道府県指定等
文化財件数

全国 **3** 位 (827件)

魅力
2

優れた
自然や文化



農業産出額

全国 **9** 位



ニラの生産量

全国 **2** 位



いちごの生産量

半世紀にわたり
全国 **1** 位

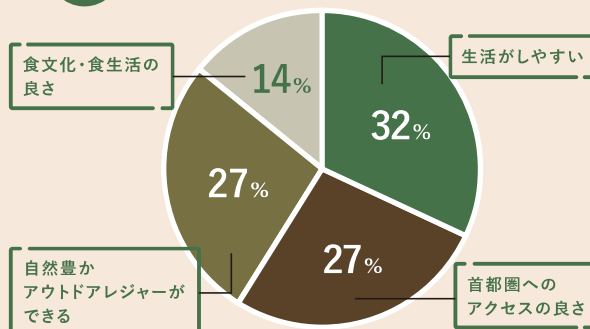
魅力
3

食の宝庫

Point

- 都会の喧騒がないところ
- 餃子が美味しい!
- 東京からのアクセスが良い
- 栃木の方は人柄が良い
- 水がきれいで自然豊か
- 新幹線が通っている
- 田舎すぎず都会すぎず過ごしやすい地域
- 都会具合と田舎具合がちょうどよい
- 関東唯一の世界遺産がある
- 登山やスキーなどのアウトドアレジャーに行きやすい
- 都心に比べてゆったりしていて物価が安い

Q. 栃木県のお勧めポイントは？



とちぎ リサーチ

栃木県に所縁のある
医師へアンケートを
実施しました。



とちぎの臨床研修病院・専門研修基幹施設一覧

List of clinical training hospitals

臨床研修病院 臨 専門研修基幹施設 基

1. 国際医療福祉大学病院

臨 基

〒329-2763
栃木県那須塩原市井口
537番地3



2. 那須赤十字病院

臨 基

〒324-8686
栃木県大田原市中田原
1081番地4



3. 上都賀総合病院

臨 基

〒322-8550
栃木県鹿沼市下田町
1丁目1033番地



4. 獨協医科大学日光医療センター

基

〒321-2593
栃木県日光市高德
632番地



5. 栃木県済生会宇都宮病院

臨 基

〒321-0974
栃木県宇都宮市竹林町
911番地1



6. 国立病院機構 栃木医療センター

基

〒320-8580
栃木県宇都宮市中戸祭
1丁目10番37号



7. 栃木県立岡本台病院

基

〒329-1104
栃木県宇都宮市
下岡本町2162番地



8. 宇都宮記念病院

基

〒320-0811
栃木県宇都宮市大通り
1丁目3番16号



9. 芳賀赤十字病院

臨

〒321-4308
栃木県真岡市中郷
271番地



10. 獨協医科大学病院

臨 基

〒321-0293
栃木県下都賀郡壬生町
北小林880番地



11. 自治医科大学附属病院

臨 基

〒329-0498
栃木県下野市薬師寺
3311番地1



12. とちぎメディカルセンター しもつが

臨

〒329-4498
栃木県栃木市大平町川連
420番地1



13. 新小山市民病院

臨

〒323-0827
栃木県小山市大字神鳥谷
2251番地1



14. 足利赤十字病院

臨 基

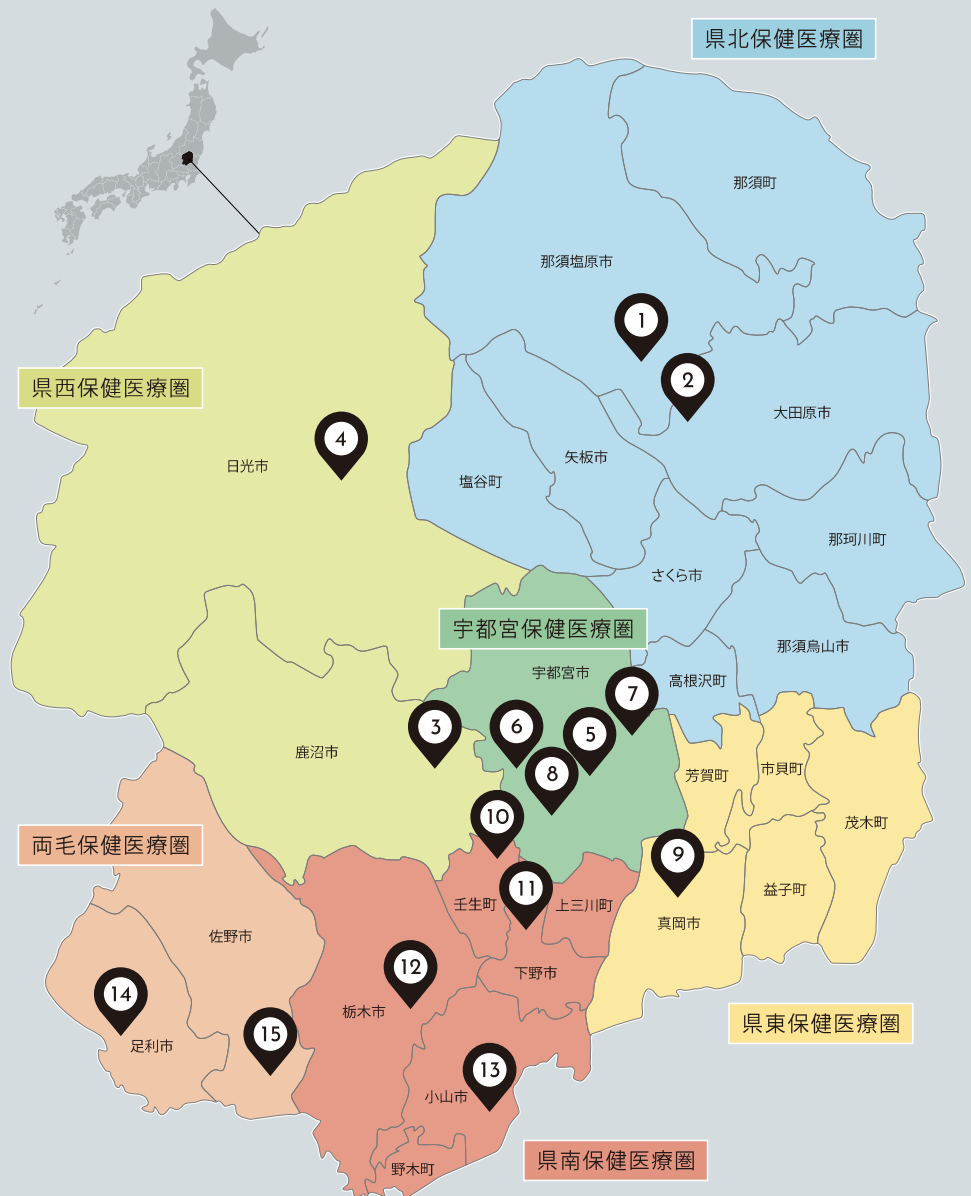
〒326-0843
栃木県足利市堀米町
284番地1



15. 佐野厚生総合病院

臨 基

〒327-8511
栃木県佐野市堀米町
1728番地





Special interviewee in Tochigi

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
栃木県済生会宇都宮病院

小倉崇以 先生

TAKAYUKI OGURA

社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部
栃木県済生会宇都宮病院
救急・集中治療科／栃木県救命救急センター
センター長

出身地 | 栃木県宇都宮市
出身大学 | 東京慈恵会医科大学
専門分野 | 救急医学、集中治療医学、災害医学/人工呼吸管理、
人工心肺(ECMO)、災害、熱傷、外傷、ドクターヘリ

栃木県には、若手医師が果敢にチャレンジできる土壤がある

信頼される救急医療を
栃木県につくるために

医師を目指した理由は祖父の遺言でした。祖父は栃木県庁の行政官として、無医村を無くすために自治医科大学の開設に奔走した人物でした。

そんな祖父から、「医者になる気はないのか？」と高校2年生の冬に聞かれ、そのとき僕は医師になることを考えてはいなかったの、「ない」と返事をしました。その数時間後に、祖父は心臓発作により突然亡くなってしまったのです。

祖父からの問いかけは僕への遺言となり、医師になろうと強く誓いましたし、同時期に高校の先輩が亡くなったこともあり救急医を目指そうと思いました。

栃木県の医療を支えるために祖父が頑張ってきた話を聞いていたので、私も栃木県の医療に貢献するつもりでいました。そのためには、まず、栃木県にはどんな問題や課題があり、どんな医療が求められているのかを知る必要があると思います。大学卒業後は地元の栃木県に戻り「済生会宇都宮病院」で初期研修を行いました。

後期研修は栃木県を離れ、群馬県の「前橋赤十字病院」の集中治療科・救急科で研鑽を積むことになりました。地域密着型の救命救急センターがあり、ドクターヘリやドクターカーの運用、ICUで人工呼吸、人工心肺、ECMOの診療ができるなど、救急と集中治療が一つの施設で研鑽できる、当時唯一の病院だったからです。



小倉崇以先生のオフ

温泉が好きで、オフには妻・子ども2人とよく温泉に行っています。温泉地も近く、気軽に行けるのがいいですね。

栃木県は那須温泉や鬼怒川温泉など数多くの温泉が集まっている日本有数の温泉地であり、都心から日帰りで行くこともできます。医師にとって日頃の疲れを癒すことも大切な仕事。自分にとって温泉が身近にあることは、栃木県で医師をするもう一つの大きな魅力だと思っています。



社会福祉法人 恩賜財団 済生会支部 栃木県済生会宇都宮病院

📍 栃木県宇都宮市竹林町911番地1

🌐 <https://www.saimiya.com/>

🛏 病床数：644床 🏥 診療科：36科

指導を仰いだ中野 実先生（現・前橋赤十字病院 院長）は、「済生会宇都宮病院」で救急医療を勉強した先生でした。中野先生には救急隊や行政との連携など、地域に密着した救急を教えてもらいました。患者さんを診るたびに地域から信頼されている病院であることを実感しましたし、栃木県にも信頼される救命救急センターをつくりたいと強く思いました。

その後、MCOMOを勉強するため英国ケンブリッジ大学に留学しました。2009年のインフルエンザパンデミックの際に日本の感染症対策に強い危機感を抱きましたし、今後はMCOMOが必要になると確信があったからです。

栃木県の医療の魅力は ”自分たちで魅力を 生み出せる”こと

2018年に「済生会宇都宮病院」に戻って自分に課したのは、地域住民から信頼され、安心した暮らしを実現する医療インフラとして磐石の救命救急センターをつくることでした。

救急医がトリアージをして、治療は各専門科が行うMDO型救急は、超高齢化社会で複数疾患を持つ患者さんが多い時代にマッチしているとは言えず、救急医も患者の入院診療に至るまで幅広く携わる必要があると考え、次の2つをミッションとして取り組んでいます。

ひとつめは、救急車の受入れから「ICUでの重症者の治療、更にはその後のリハビリテーションまで、患者さんを自分たちで責任をもつ

て診ることができる新しい救命救急センターを構築すること。

もうひとつは、高い管理技術が求められるMCOMO治療を専門的に行うMCOMOセンターを立ち上げ、日本の救急医療の新たなモデルケースを造り上げること。

救命救急センターもMCOMOセンターも未だ走り出しの段階ではありますが、いろいろな方々の温かいサポートや人との縁があつて、今、順調に運営できていると感じています。

栃木県は医療資源が少ないため、各医療機関の横のつながりが強く、協力的体制にあることが特徴だと感じています。栃木県の医療の魅力は、これから若い医師のみなさんがつくりあげていくものだと思っています。

私は救急医として、住民のみなさんが安心して暮らすことができる地域づくりのために新しい救命救急医療の構築に挑戦していますが、さらに人材育成にも力を入れたいと考えています。地域づくりには人づくりが大切であり、行政と連携しながら医師一人ひとりの能力と個性を最大限に発揮できる環境づくりや、栃木県として医師の海外留学を後押しするようなシステムなど、世界に羽ばたくことができるような人材育成の土壌もつくっていききたいですね。

栃木県には、若くしてチャレンジできる環境があり、それを受け入れてくれる懐の深さもあります。これから栃木県の医療をみると一緒につくっていく。それができる環境にあることが栃木県の最大の魅力ではないでしょうか。

MESSAGE

”どういう医者として終わりたいのか”を
具体的に描くことが大切

自分のビジョンを実現させるためには、「どんな医者になろうか」ではなく、「どういう医者として終わりたいのか」、「を具体的に描くことが大切です。

「なんとなく専門医資格を取った」、「大学の医局人事だから仕方がない」という考えやキャリアでは、自分のビジョンを語ることはできません。実現することは難しいでしょう。30年後、自分の子どもに医師としての半生を語る姿を想像して、具体的に語ることができ

るまで将来像をしっかり描いてください。それを実現するためにはどういうキャリアを歩むべきなのか、進むべき道が見つかるはずです。

そして、世の中にとって良いと思ったことを、医療を通して実現したいという強い決意があるのなら、ぜひ栃木県に来てください。あなたのビジョンを実現するためにチャレンジできる環境が栃木県にはあります。共に栃木県の医療の魅力をつくっていきましょう。





11

Special interviewee in Tochigi

学校法人自治医科大学
自治医科大学附属病院

藤沼 香栄 先生

KAE FUJINUMA

学校法人自治医科大学
自治医科大学附属病院
初期臨床研修医（2年目）

出身地 | 栃木県河内郡
出身大学 | 北里大学
将来の希望診療科 | 消化器外科
(いずれは救急科)

助け合いの医療があり、働きやすさも魅力 医師人生のスタート地点に相応しい場所です

大学と市中病院、両方の特徴を経験できる、研修に最適な場所

私は最初から医師を目指していたわけではなく、一般の4年制大学を卒業する年に起きた兄のバイク事故をきっかけに医師になろうと決意しました。

兄の事故でショックを受けているなか、救急救命の先生が親身になって話をしてくださり、その優しさと誠実な対応に私も家族も救われました。医師という職業に感動し、私も人を支えることのできる医師になりたいと強く思い、大学卒業後の就職先は決まっていたが一念発起して医学部を目指しました。

そして現在は、「自治医科大学附属病院」の初期研修医として、日々、診療に励んでいます。

北里大学を卒業後、地元の栃木県に戻ってきたのは、両親が高齢であるため近くにいたかったことが大きかったですね。そのまま大学に残ったり、都市部の病院で初期研修をする同期が多かったのですが、どこで研修をしようが最終的には自分の頑張り次第だと思いましたし、生まれ育った栃木県に恩返しができるという気持ちもあり、栃木県内で研修病院を探しました。

そのなかで「自治医科大学附属病院」を選んだのは、基幹病院であり、患者さんは栃木県内だけではなく茨城県西部や埼玉県北部を含む広域から集まるなど、多彩な症例を実践的に診ることができ、



さらに教育指導体制も充実しているからです。

卒後2年目で、まだまだできないことも多いですが、医師として特に意識しているのは、いくら忙しくとも患者さんに誠実に向き合うことです。「この症例は自分の目指している科じゃないから」とか、「忙しいから適当に対応しておこう」という気持ちは必ず自分に返ってきます。重症になる患者さんを取りこぼさないためにも、忙しいときこそオーバートリアージになってもいくらい誠実に真摯に対応すること。そうした意識を大切に日々の診療にあたっています。

横のつながりが密で、助け合いが根付いた医療

栃木県には、「自治医科大学附属病院」と「獨協医科大学病院」の2つの大学病院が近い距離に位置しています。この2つの大学病院の周辺には、二次医療機関があまり充足していないという状況もあり、「自治医科大学附属病院」では都市部の大学病院ではあまり診ることのないCommon diseasesの患者さんも多く受け入れていることが特徴です。

大学病院の「高度な専門医療や先進医療」、そして市中病院の「地域に密着した幅広いCommon disease」という両方の特徴を経験できる「自治医科大学附属病院」は、研修医や若手医師の研鑽の場として相応しい環境にあると思います。

また、「自治医科大学附属病院」の研修医は47都道府県全国から集まっており、さらに海外からの研修医もいます。それぞれ出身大学

が異なるため、それだけたくさんの方の考え方や知識、そして医療に取り組む姿勢を吸収することができ、毎日、医師として大きな刺激をもたらしています。

出身大学の縛りはなく、各科の垣根は低いですし、さらに看護師さんなどコメディカルの方々も優しく仕事ができやすいのも大きな魅力ですね。

栃木県は医師数が少なく、医療資源に限りがあり、そのなかで質の高い医療を提供するためには、チーム医療や、診療科間、多職種間の密な連携は必須であり、栃木県には助け合いの精神が強く根付いた医療環境があります。

研修医は初めての社会人でもあり不安も大きいと思いますが、助け合いの精神が根付いた、強いチーム医療、密な連携といった栃木県の医療環境なら安心して研修に臨むことができます。医師人生のスタート地点として栃木県は最適な場所だと思いますね。



学校法人自治医科大学 自治医科大学附属病院

● 栃木県下野市薬師寺3311番地1
 ● <https://www.jichi.ac.jp/hospital/top/>
 ≡ 病床数：1,132床
 ≡ 診療科：47科



藤沼香栄先生のオフ

コロナ禍ということもあって、オフの日あまり外出せず家でゆっくり過ごしています。寮には同期もたくさん住んでおり、部屋に遊びにいった一緒に食事をしたり、いろいろと話すことも楽しいですね。寮はとてもキレイで広く、家具も完備され、しかも家賃が安いなど、とてもいい環境で気持ちよく生活することができます。また、栃木県は那須高原や日光など観光スポットも多くありますし、温泉も身近にあります。東京へ出るのも「湘南新宿ライン」で乗り換えなしで約1時間で行くことができ、買い物などアクセスの利便性が良いのも魅力ですね。

MESSAGE

学生時代は社会を広く 経験しておくことも重要

医学生のみなさんは勉強に追われる日々を過ごしているかと思いますが、医師になると知識や手技など覚えることが沢山あり、学生時代よりも他のことに割く時間は少なくなります。

学生時代だからこそできることは多く、医学以外の世界にたくさん触れておくことも大切です。外の世界にたくさん触れ、いろんな人と関わり、多くを見て経験することで、自分の世界が広がり、感

性が磨かれ、心を豊かにしてくれます。それが後の医師としての重要な資質となっていくでしょう。

そして少しでも栃木県の医療に興味のある方はぜひ病院見学に来ていただき、栃木県の医療環境を感じてください。遠方に住んでいる方も、見学の交通費や宿泊費などは栃木県から補助金が出ますので、気軽に来てほしいですね。一緒にこれからの栃木県の医療を盛り上げていきましょう。



医師のみなさまへ

無料職業紹介事業

職業安定法に基づき、栃木県内の病院・診療所に就職（常勤・非常勤）を希望する医師の方に対して、医師を必要としている医療機関を紹介・斡旋します。

詳しくは
こちらから



ドクターバンク事業

医師不足に悩む公的医療機関等に派遣する医師を随時募集しています。栃木県一般任期付職員（ドクターバンク医師）として採用します。任期は3年間です。

詳しくは
こちらから



とちぎ地域医療 支援センターの取り組み

栃木県の様々な支援制度・事業をご紹介します。

栃木県
イメージキャラクター
「とちまるくん」



医学生のみなさまへ

医師修学資金貸与制度

- 対象者
将来、産科医または小児科医として、栃木県内の公的医療機関等に勤務する意志のある全国の医学生。
- 貸与額
年額300万円（月額25万円×12月）
- 返還免除
次の2つの条件を満たした場合に貸与した修学資金の返還を免除します。
 1. 医師免許取得後、初期臨床研修を栃木県内で行うこと。
 2. 栃木県内の公的医療機関等において、産科医又は小児科医として修学資金貸与年数の1.5倍の期間勤務すること。

詳しくは
こちらから



詳細については県のHPをご確認ください▶



臨床研修医・ 専門研修医等のみなさまへ

各種支援事業

研修セミナー：臨床研修医向け

研修医同士の情報共有や尊敬できる指導医を見つけたきっかけづくりに、研修セミナーを年1回開催しています。



研修支援事業： 若手医師（免許取得後5～15年以内）向け

若手医師のスキルアップのため、一定期間（研修期間の2倍以上）県内医療機関で勤務することを条件に、国内外での研修に関する費用（旅費・滞在費・研修受講費等）を補助します。詳細については県のHPをご確認ください。

詳しくは
こちらから



とちぎ地域医療支援センターサテライトのご案内



県内医療機関での研修や就職に関する相談・情報提供の窓口です。相談員が電話やWEB・対面による面談等で対応します。サテライトに登録すると、県の支援制度・事業をはじめ、県内で活躍する医師の方々の紹介等の情報を定期的にお送りします。栃木県での勤務に興味がある方、将来とちぎに帰りたいといった方は是非ともご利用ください。

とちぎ
地域医療支援センター
サテライト

ご登録は
こちらから



ご質問・お問い合わせは下記電話番号へ
お気軽にご連絡ください。

受付時間：平日9時～17時

TEL 03-4565-9440

サブ 03-4565-9871

求人照会・
交渉



サテライト相談員

登録・
相談

面談



医療機関

マッチング



転職希望ドクター

とちぎ地域医療
支援センター

〒320-8501 宇都宮市埴田1-1-20 県庁舎本館4階
TEL 028-623-3145



ホームページは
こちらから

人口：約 200 万人
臨床研修病院：11 施設
病院数：107 施設
200 床以上は 30 病院
（令和 3 年 4 月 1 日時点）

栃木県